



やまだ 議会だより

船越半島

No.110
2005.11.1 発行



秋のお楽しみ 山田町第一保育所で芋掘り

9 月
定例会

定例会のあらまし

町施設に指定管理者制度を導入 — 2P

総額144億円

平成16年度決算審議 — 4P

町の考えを聞く — 10P

議員6人が一般質問

豊中生徒が議会を傍聴 — 16P

16年度決算を審議、認定

どう生かされた144億円

九月定例会は、九月六日から十五日まで十日間の会期で開かれました。一般質問（十ヶ所十五ヶ所に掲載）には六人が登壇し、アスベスト対策や財政問題、防災対策など幅広く町政について質問。総額百四十四億円に及ぶ一般会計と特別会計の平成十六年度決算認定案は決算特別委員会の集中審議の結果すべて認定されました。そのほか、公の施設管理に伴う関係条例の整理に関する条例や固定資産評価審査委員の選任などが提案され審議の結果原案どおり可決されました。最終日には、採択された請願に伴う議員発議の意見などを可決し、十日間の会期を閉じました。



来年4月から指定管理者制度を導入を予定している「道の駅やまだ」

町施設に指定管理者制度を導入

「道の駅」「町立艇庫」を指定へ

公の施設の管理について定めた「公の施設管理に伴う関係条例の整理に関する条例」が制定されました。この条例により、公の施設は、管理委託による運営を行うことができなくなり「指定管理者の指定」か「町による直営」などで管理・

運営されることとなります。指定管理者制度は、地域の活性化や地域住民団体などの協働を推進するための有効な手段です。公の施設管理に民間能力を活用することで、住民サービスの向上と管理経費の削減を図ることができます。

既に指定管理者を指定している施設に「山田町堆肥センター」がありますが「林産物展示販売施設（道の駅やまだ）」と「町立艇庫」についても、来年の四月から、指定管理者制度を導入するため、条例の改正が行われました。町では、これからの進め方について▽町立保育園の民営化も含め施設の民間委譲や廃止の可能性の検討を進める▽指定管理者の指定への環境が整い次第、該当

する施設の設置条例の改正・整備を行い、指定管理

者の指定事務を進めるーとしていきます。

一般会計に47万円を追加

一般会計に四百四十七万円を追加するなど、十七年度の補正予算六件が提案され審議の結果すべて原案のとおり可決されました。今回の一般会計の補正は、国・県の補助事業の内示に基づく事業費の調整や議場天井裏のアスベスト除去工事費の計上、減債基金繰入

金の減額などが骨子で、主なものは次のとおりです。
▽地方交付税：二億四十九万円の増
▽土木費国庫補助金：一千百万円の増
▽農林水産業費補助金：千七百八万円の減
▽減債基金繰入金：三億円の減

山田地区公共下水道終末処理場用地を取得

山田地区公共下水道事業の終末処理場用地を七千七百三十七万円で取得することが決まりました。場所は柳沢地区の山田自動車道の北側です。



建設が始まった山田町堆肥センター出荷施設棟

案は次のとおりです。
▽町営住宅の設置及び管理等に関する条例改正
▽岩手県市町村事務組合の規約改正
▽公共下水道山田管渠布設

工事の請負契約締結（請負金額八千二百九十五万円）
▽堆肥センター出荷施設棟建設工事の請負契約締結（請負金額五千六万円）

その他可決された主な議

固定資産評価審査委員の選任に同意



10月8日に任期満了となる町固定資産評価審査委員会の委員に、貫洞征功さん(61)=飯岡=(再任)、昆裕司さん(57)=織笠=(再任)を選任することが決まりました。任期は向こう3年間です。

議員発議の意見書可決

「公契約法制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書」が議員発議され、原案どおり可決されました。これは請願の採択を受けてのもので、その後、政府関係機関へ提出されました。

第1回臨時会

第1回臨時会が10月13日開かれました。町からは、教育委員と監査委員の同意案、児童館設置条例の改正案の3件が提案され、審議の結果原案どおり可決されました。

教育委員の任命、監査委員の選任に同意



前教育委員の佐藤幸男さん(9月30日任期満了)の後任として、新たに馬場善也さん(74)=境田=、監査委員(11月7日任期満了)に鈴木ミキさん(60)=石峠=の再任が決まりました。

児童館設置条例を改正

児童館は、子どもの健全な遊びと健康の増進などを目的に、関口・轟木地区に整備され、町の直営で運営されています。今回の条例改正は、児童館の効率的・効果的な管理運営を図るため、指定管理者制度への移行を図ろうとするものです。

関口児童館については、来年4月に指定管理者の指定を行う方向で準備が進められます。

一般会計決算など「活発な議論」

総括質疑



国勢調査による本町の人口動向が気になります（国勢調査票の審査の様子）

国勢調査の人口減による財政状況は

問 国勢調査により人口が二万人を割った場合の財政状況はどうなる。
企画財政課 町税、交付税は、右肩下がりとなり厳

しくなると考える。どこの市町村も同じ状況。
問 「よみがえり予算」は事業を先に延ばす口実では、「使い残し予算」は職員の意欲の低下にならないか。
企画財政課 「よみがえり予算」は、今後要求があるだろう。「使い残し予算」は節約した結果であり、プラスに作用した。

町の活力を高める政策予算の増額を

問 事務的経費に比べて町の活力源となる政策的予算が減っている。これが身の丈にあった行政執行か。
町長 交付税、補助金が減っている中で予算を組まなければならぬ。町債を発行すれば投資的予算を増

やせるが、後々の負担となるためバランスを考えなければならぬ。

町発注の工事に地元企業の活用

問 大きな工事は大手企業が取り、地元企業は下請けをしている。地元企業を優先することができないか。
地域整備課 建築関係は、ほとんどが地元企業である。事業によっては条件的に難しい点があるが、地元企業が多く参加できるように考えている。

問 課を統廃合したが、主幹を置いたことで管理職は減っていないのでは。
助役 事務事業に弾力的な体制となり人員削減につながった。主幹は必要性が

山田町次世代育成支援計画に基づいた事業を進める。



3日間に及んだ決算特別委員会活発な議論が交わされました

所得向上の支援策と1次産業の活性化策

問 所得向上の支援策、第一次産業の活性化策は、産業振興課 町民と話し合い、投資的・恒久的なものを検討して行きたい。
問 団塊の世代が退職

第8次総合発展計画沼崎町長のカラーは

問 第八次発展計画に町長のカラーをどう示すか。
町長 厳しい財政状況から投資的事業では示せない。従来の考え方を換え、行政と住民がパートナーシップの基に、協働で町づくりを進めなければならない。行政が行うことが当たり前と考えられていたサービスも住民にお願いし、事業

あり設置したが、業務が進めば廃止もある。
問 主要なプロジェクトの事業達成率は。
企画財政課 第七次発展計画での達成率は、集落排水事業は八〇割、下水道事業は七八割、柳沢団地建替事業は五九割である。

したとき業務は大丈夫か。
総務課 課長が指導してできる限り与えている。

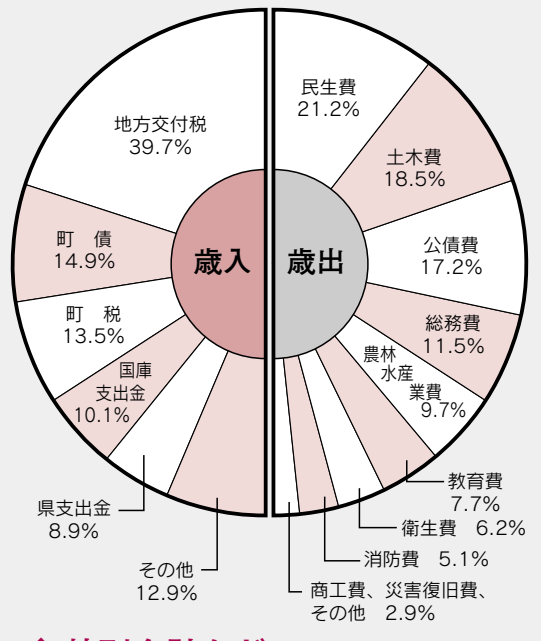
も絞っていく。あえていえばそれがカラーである。
問 財政の見直しはどうか。合併しなくても大丈夫やっつけているか。

町長 住民、議会と議論を重ね単独の道を選んだ。行政改革を進め、合併しなくてよい町づくりを進める。職員を二十人減らしたが、更に十人減らす考えもある。

問 町の活性化の為に、子育て支援策を強化すべき。
保健福祉課 出生数の低下の原因は、女性の社会進出、晩婚化、子供を産み育てる意欲の低下などが考えられる。子育て支援は、国の新エンゼルプランを受け、

平成16年度決算額

◆一般会計 歳入 81億2,793万円
歳出 79億7,807万円



◆特別会計など

♥決算額（上段=歳入、下段=歳出）

国民健康保険	24億2,164万円 23億8,532万円
老人保健	19億5,770万円 19億5,764万円
介護保険	11億9,839万円 11億7,555万円
簡易水道事業	7,758万円 7,576万円
漁業集落排水処理事業	2億4,879万円 2億4,724万円
公共下水道事業	3億3,513万円 3億3,378万円
土地取得事業	5万円 5万円
水道事業	2億9,124万円 2億6,037万円

ことば…よみがえり予算

事業内容の見直しや改善など、自主的な努力で節減した財源を一定の基準内で加算要求することができることとしたもの。

決算特別委員会は、九月十三日から十五日まで町中央コミュニティセンターで開かれました。特別委員長には、昆暉雄副議長を選出。三日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など九会計の平成十六年度決算を審議しました。ここでは、その概要をお伝えします。

一般会計

町税の収入増の理由は

問 町税の収入未済額が多いのに、収入額が昨年より増えている理由は。
答 一部企業が好調で法人税が増えている。また、固定資産税の増、税



津波被害を最小限に食い止める門扉
(平成17年度の防災訓練から)

率改正によるたばこの税率が伸びたため。
問 高額滞納者の対策は。
答 納税相談を行い、回収できるものは少しでも回収する。
問 固定資産税の滞納が多い職種は。
答 元飲食業、水産加工業、サービス業、漁業に滞納が多い。
問 支所には二人の職員が配置されている。一人を臨時職員にするなど改善策

船越・豊間根支所の改善策

が必要ではないか。
答 今年度から支所長が公民館長も兼ねている。今後の体制は、現在検討中である。
問 水門閉鎖の時間短縮を
答 防災訓練の際、水門の閉鎖に十八分かかっている。もっと早く閉める方法があるのではないかと。
問 水門の閉鎖時間は、宮城県沖地震で想定される津波到達時間の範囲内である。周辺住民との協力体制の必要性も考えられている。

自主防災組織の結成と組織率は

問 自主防災組織の組織率は。津波が襲来する地域では、組織を結成する必要があるのではないかと。
答 北浜、飯岡、船越、大沢、袴田、川向、愛宕地区で組織され、全体での組織率は二二・五割である。一〇〇割を目指し努力する。
問 「海を守る会」で、岸壁から用を足さないなど、海を使っている人の意識を

結核検診の通知が来なかった理由は

問 六十五歳未満の人に結核検診の通知がされなかった。その理由は。
答 法律改正により、今年から六十五歳未満は個人で受診することになったためである。
問 子育て支援対策として、委員会を立ち上げることが必要ではないか。

保健福祉課 次世代育成審議委員会は十七年度から十年の計画で事業を展開する。行政と住民が一体となった施策の展開が必要である。子育て支援委員会については検討したい。
問 町道の未登記が豊間根地区に多い。原因は。
答 相続人が代わったことによる不承諾や相続人が多く作業が進まないことなど。また、隣接者との関係などもある。
問 不動産鑑定委託料とは。どのような内容か。
答 三年ごとに行われる固定資産の評価替(十八年度)の際に、不動産の鑑定評価を取り入れるための委託料である。一件当たり六万九千五百五十円で、九十五件を行った。評価の結果、平均変動率はマイナス四・八割であった。

豊間根地区に公衆トイレを設置せよ

問 豊間根地区には公衆トイレがない。設置することはできないか。
答 現在設置されているトイレは漁港関連の補助で作ってきた経緯がある。

田の浜観光車道の今後の方策は

結果的に豊間根地区に公衆トイレがないのは、指摘のとおりであり検討したい。
問 田の浜の観光車道は利用されずに、借地料を支払っている。今後の方策は。
答 地権者は十六人。今年度は借地でお願している。今後は、買収を進めたい。応じない人には返還する旨を話している。
問 漁業振興のため、資

保育園民営化のメリットは何か

変える取り組みを。
町長 機会があるごとに啓発はしている。これからも伝えてゆく。
問 豊間根保育園の職員数は。民営化された場合のメリット、デメリットは。
答 職員数は、正職員が五人である。民営化のメリットは、一般財源化された運営費が国県負担金としてもらえる。延長保育に柔軟に対応できることなど。デメリットは保育士が替わる時の園児のとまどいであるが徐々に慣れるよう配慮する。

「鯨と海の科学館」の赤字解消の改善策は

問 「鯨と海の科学館」は千五百万円の赤字であるが、改善策は。
答 清掃業務の見直しや受付業務の臨時雇用などで経費を削減した。また、入館者を増やすため、観光バスのコースに入れてもらうなど取り組んでいる。
問 本町の教育課題は学力向上と健全育成。生徒の学力は向上しているか。
答 標準学力検査の結果を見ると、着実に向上している。

各種イベントの事業費と効果は

問 イベントの総事業費と周年の観光客数は。各種イベントは町の活性化に効果があつたか。
答 総事業費は▽アサリまつり：四百八十



山田の秋祭りに定着した「お祭り広場」
多くの家族連れや観光客で賑わいます

平成16年度町税実績に関する調べ

税目	区分	調定済額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率
町民税		463,324	395,142	1,973	66,209	85.3
固定資産税		739,395	565,988	3,108	170,299	76.5
軽自動車税		31,158	28,898	51	2,209	92.7
町たばこ税		107,477	107,477	0	0	100.0
特別土地保有税		97	95	0	2	97.9

「鯨と海の科学館」入館者数の状況

年度	一般	高校・学生	小中学生	合計
平成12年度	13,782	460	5,646	19,888
平成13年度	15,904	395	6,397	22,696
平成14年度	13,132	325	5,250	18,707
平成15年度	13,135	355	5,071	18,561
平成16年度	9,396	280	3,776	13,452

特別会計



上水道との統合が検討されている馬指野簡易水道（給水施設）

国保税の滞納
運営の支障は

問 国保税の滞納が多い。国保運営の支障とならないか。滞納している人は、納入する気がないのか。

答 国保税の滞納が多い。国保運営の支障とならないか。滞納している人は、納入する気がないのか。

税務会計課

高額滞納

滞納者の保険証と保
険証を持たない人は

問 滞納者の保険証は、町民で保険証を持っていない人はいるか。

答 滞納額に

住民生活課

滞納額に

者は多額の負債を抱えている場合がほとんどである。財産が処分されても金融機関が配当上位にあるため、町には配分がない。訪問などにより納めてもらうようお願いしている。不納欠損処理は、実態を調査した上で処理する。

介護保険の制度改正
による利用者の負担

より、二十万円を越える場合は一カ月、二十万円以下の場合は三カ月の短期保険証を発行している。町民で保険証を持っていない人はいない。

問 介護保険制度の改正により、介護施設はホテルコストとなり利用者の負担が増えるのではないかと。保健福祉課

低所得者

には手厚い保護がある。負担能力のある人には多少負担が増える。

「平安荘」の入所者は、ほとんどが軽減対象となる。「かろ」は、約半数が軽減からはずれ、三万円から四万円の負担増となる。

馬指野簡易水道を
上水道にする考え

問 馬指野簡易水道を将来、上水道にする考えがあるか。

水道事業所

早期に上水道と統合したいと考えており、現在調査中である。

問 水洗化率向上のための方策は。

地域整備課

経済的な理由などで水洗化が進んでいない。

水洗化を進めるため、工事説明会や広報などで啓発をしている。また、融資の利子補給を従来の五年から七年に延長している。

織笠・山田地区下水道
事業の受益者負担は

問 織笠・山田地区の下水道整備に対する受益者負担金をどのように考えているか。

地域整備課

本来、受益者が負担すべきものであり、住民説明会で話をしている。今後も十分な説明を行う。

問 大浦地区の古い水道管の取り替え時期は。

水道事業所

現在進めている豊間根地区の老朽管更新事業の完了後に行う。時期は、平成二十三から二十四年頃を予定している。

問 水道の現行料金体系で何年大丈夫か。

水道事業所

料金改定から五年経過した時点で検討することにしており、平成十九年度がその年である。改定するかどうかはその時点で検討する。

ことば…ホテルコスト

施設入所時の居住費や食事にかかる費用のことです。これらの費用について、自分で負担している在宅介護者との不均衡を是正するため、施設入所者についてもホテルコストとして負担してもらうよう介護保険制度が改正されました。ただし、低所得者に対しては軽減措置があります。

3常任委で所管事務調査 担当部署から現状など聞き取り



救急や火災など緊急時の対応について山田消防署を視察する総務常任委員

総務

防災訓練の見直し

総務常任委員会（川村敬一委員長）の調査は、七月十四日、総務、企画財政、税務会計、消防防災の四課に対し行われました。テーマは▽町地域防災計画の見直しの背景と重点施策▽第八次町総合発展計画策定作

業の進捗状況▽納税貯蓄組合の現状と課題▽救急及び火災など緊急時の対応と課題についての四項目。その結果、地域防災計画では「防災マップは子どもにもわかるよう、漫画風絵を入れるなどの工夫が必要」「防災訓練の見直しを検討すべき」など。納税貯蓄組合については「年々組合数は減少してきているが、

議会には、総務、教育民生、産業建設の三つの常任委員会があり、毎年、町の事務・事業の調査や提言活動を行っています。本年度も五月から所管事務調査が始まりました。調査は委員会が担当する役場の部署を対象に行うもので、調査テーマに沿い職員への聞き取りや現地視察が行われています。

教育民生

国保負担の効率化

教育民生常任委員会（吉川淑子委員長）では、七月十五日と八月二十四日、住民生活課、保健福祉課、教育委員会を対象に行われました。テーマは▽国民健康保険事業の運営▽環境、廃棄物処理、リサイクル▽介護保険の現状と課題▽社会福祉施設の管理運営▽町民の医療と健康▽学校教育施設の管理運営▽学校給食についての七項目。

町からは、それぞれのテーマに沿って、事務事業の現状や課題が報告された後、「国保財政の危機を招かぬよう負担の効率化を図るべき」「児童、生徒の

産業建設

地元業者の活用と育成

安全確保を最優先とした予算配分となるよう配慮すべき」など活発な意見の交換がなされました。

産業建設常任委員会（佐々木良一郎委員長）の調査は、五月九日と七月十二日に地域整備課、産業振興課、水道事業所を対象に行いました。テーマは▽柳沢北浜地区土地区画整理事業の進捗状況▽下水道、集落排水処理施設の整備状況▽町道及び排水施設の現状と課題▽観光振興の施策の取り組み状況と船越家族旅行村の現状と課題▽堆肥センターの取り組み▽建設業者格付けの見直し▽水道事業の改良整備についての七項目。質疑では「建設業者格付けの見直しにあたっては、地元業者の活用・育成の観点から、バランスの取れた請負限度額の設定を」「区画整理事業は分離発注を行うなど地元企業を活用すべき」「町道・排水設備などの維持補修予算を増額し住民生活の向上を」など活発な意見が交わされました。



道又秀悦議員

企業誘致

雇用機会の拡充と所得の向上

経済状況、立地条件などから難しい

は。

沼崎町長

- 質問** 町民の雇用機会の拡充と所得の向上を図るため、優良企業の誘致は重要課題である。ついては次の点を問う。
- ① 企業誘致の現状と見通しについて。
 - ② 現在まで町が誘致した企業数は。
 - ③ 現在の企業数と従業員数

① 昨年度の県内の誘致企業は二十二社。沿岸部は本町を含む三社で残りは内陸部への進出であった。企業誘致の見通しは、現在の厳しい経済状況、立地条件などを考えると本町をはじめ沿岸部への企業誘致は非常に難しい。

② 現在までの誘致企業は十二社。

③ 本年三月一日現在の企業数は十社で、従業員数は五百十四人である。

わせなどはない。

昨年度の県内の誘致企業は二十二社。沿岸部は本町を含む三社で残りは内陸部への進出であった。企業誘致の見通しは、現在の厳しい経済状況、立地条件などを考えると本町をはじめ沿岸部への企業誘致は非常に難しい。

② 現在までの誘致企業は十二社。

③ 本年三月一日現在の企業数は十社で、従業員数は五百十四人である。

議員6人が一般質問



地震災害によりコミュニティセンターに機能を移転した図書館

早急な整備を望む

図書館整備

コミセンを利用する方向で調整

質問

地震の被害を受けた町立図書館は、中央コミュニティセンターに機能を移転して二年が過ぎた。町民に不便をかけているこ

とを危くするが、町も現状を長期に続けることは好ましいことではない。

図書館整備は、来年四月から始まる第八次総合発展

計画で検討するとのことであった。早急な取り組みが望まれるが、見解は。

沼崎町長 図書館は平成十五年五月の三陸南地震で損傷し、使用困難となったことから図書館機能を現地に移転した。

利用者には不便をかけているが、現在の本町の財政事情では図書館を新築することは困難である。

第八次総合発展計画での図書館整備は、移転後の図書館利用状況や利用者の利便性などから現在使用している中央コミュニティセンターの一部を改修し図書館として利用する方向で調整している。



町民の雇用機会の拡充と所得の向上を図るため優良企業の誘致が望まれます (霞露ヶ岳山頂から見た山田の街並み)

町民に不便をかけているこ

とを危くするが、町も現状を長期に続けることは好ましいことではない。

図書館整備は、来年四月から始まる第八次総合発展



来年の病院移転に向け工事が進められている
県立山田病院（柳沢地区）



田村剛一議員

県立山田病院

新病院の周辺整備

移転に合わせ関係機関に要請

質問 県立山田病院周辺の環境整備について。

- ① 病院建設スケジュールは。
- ② 病院周辺への企業、商店、アパートなどの建設の動きはあるか。
- ③ 病院玄関前のロータリー構想とバス運行は。
- ④ 町道関口線と新病院を結ぶアタセス道の計画は。

沼崎町長

- ① 八月二十三日に工事請負契約を締結。工期は平成十七年八月二十四日から十八年九月十七日まで。工事完了後、早い時期に移転し診療を開始したいとの報告を受けている。
- ② 今のところ、企業、商店、アパートの進出や建設の具体的な動きは承知していない。
- ③ 病院利用者の利便性を考え、ロータリー整備を要請してきた。開院に合わせ、バスなどが乗り入れ可能になるよう県及び岩手県北自動車株式会社に

町の考えを聞く

環境問題

町の安全対策は大丈夫か 不安を与えないよう取り組む

引き続き要請する。

- ④ 土地区画整理地内からJRを越えて関谷橋までは重要路線として整備が計

画されており、その方向で取り組みたい。当面は、JRガード下道路を現状で活用願いたい。

質問

- ① 旧公民館、図書館など耐震性に問題のある建物が存在する。その対策は。
- ② アスベスト被害が問題になっている。本町にはアスベスト使用の建物はあるか。その対処は。
- ③ 青森県六ヶ所村に建設された核燃料再処理工場は三陸漁業にも影響を与えているのでないかと心配されている。町の対応は。
- ④ 旧公民館は遺跡出土品や

沼崎町長

- 民族資料の保管庫として利用。一般人の出入りはできない。今後の対応については、図書館整備と併せ検討していきたい。
- ② 議場の天井裏の梁（はり）使用されており除去する。ふるさとセンター、B&G海洋センターについては調査し対応する。
- ③ 市民団体などから安全性を疑問視する声のあることは承知している。今後、この問題に関心を持ち対応したいと考えている。



水道管布設の様子（柳沢北浜地区土地区画整理地内）

③…石綿セメント管

石綿（アスベスト）繊維とセメントを原料として作られた水道管で、重量が軽く安価で施工性に優れていたため、昭和27年から昭和50年にかけて全国的に普及しました。しかし、耐用年数が短く衝撃に弱いため漏水の原因となっており、町では平成3年度からダクタイル鋳鉄管に布設替を行っています。

健康への影響について厚生労働省では、呼吸器からの吸入に比べ毒性は極めて少なく、水道水中のアスベスト残存量は問題になるレベルではないとしています。

質問 現在水道管に、北浜・柳沢地区で九百七十七戸、大浦地区で千五百戸のアスベスト管が使用されている。かつて平成十年にある議員が「アスベストは身体にとって有害といわれているので、アスベスト管は早急に交換してはどうか」という間に「平成十四年までにダクタイル鋳鉄管に交

換を完了予定だ」と答えているが、今だそのままの状態だ。財政が厳しいのは分かりますが先へ延ばさず、この事が命に関わる問題なので、気が付いた時点ですばやく交換すべきと思うが、どうか。佐々木水道事業所長 厚生労働省での石綿セメント管の考え方は、健康的には



佐藤忠暉議員

施設整備

アスベスト管の交換を

安全だと言うより大丈夫だ

大丈夫だと言っているのだから、安全だと言うよりは大丈夫だと考えている。

沼崎町長 今問題になっ

ているのは、肺から鉍物繊維を吸入することによって中皮腫になり肺がんになるということである。水道管に石綿管を使っているが、一〇〇割溶けだすことは誰も考えていないと思う。水道水の中に繊維のいくらかが混じったとしても、それは胃や腸から吸収されることではない。

議員6人が一般質問

総務行政

町独自事業の検討を

質問内容が理解できず

質問 山田町が市町村合併に参入せず、独自で生きて行くためには、財源の減少などから、かなり厳しいと考える。

そこで、山田町の独自事業について提案したい。

①町民との協働による「行政運営推進条例」（仮称）を設けてはどうか。

②地方自立計画・行政パートナー制度を導入しては。

③「町民が創る町民の山田町」の実証に向かって「行政運営基本条例」（仮称）を設けてはどうか。

④町民委員会を設置し、町政運営基本条例に基づき設置した委員会で、町民自身による、第2の町役場を目指してはどうか。

⑤「山田町長等政治倫理条例」を制定してはどうか。

⑥町民委員会が「山田町の予算」を編成しては。

沼崎町長 ①④と⑥は質問内容が理解できず、再質問で説明願いたい。⑤公職選挙法などで律しられており、現状で特に問題は無い。



交付税の減額は町の財政に大きな打撃となります



佐々木良一郎議員

地方交付税

減額は合併しないペナルティ

合併問題とは関係ない

質問 第八次総合発展計画の素案が発表されたが、一番大事な予算が不足している。平成十九年度以降の臨時財政対策債が戻らないと地方交付税が二億八千万円減額されると予測されているが、これは合併しなかったペナルティでないか。

沼崎町長 政府は、地方交付税の財源不足対策として、平成十五年までの臨時財政対策債を認めてきたが、十八年度まで延長することになった。十九年度に廃止になれば、二億八千万円が地方交付税に戻らなければならぬ。地方交付税は三位一体の改革との関連もあり不透明だが、仮に臨時債分が戻らない場合を予測したものであり、合併問題とは関係ない。

沼崎町長 最低保有額を標準財政規模の五割以上とし、一〇割を目標とする。

質問 本町は今回の合併には時期を逸した。将来的には、合併に対して町長はどう考えているか。

沼崎町長 県では、市町村合併推進審議会を新たに設置した。本町の位置付けがどのようなになるか分からないが、答申の内容により新たな議論も想定される。

町の考えを聞く



路線の延長が望まれる町道織笠外山線

建設行政

町道織笠外山線の延長

現状の財政状況では難しい

質問 町民待望の町道織笠外山線が完成し、大変喜ばれている。引き続き路線を延長し、町道織笠礼堂線に接続してほしい。

道路は直接命に係わるものである。救急車の通行な

どに支障をきたさないよう早急な整備を願う。

沼崎町長 この区間の改良整備の必要性は充分感じているが、現状の財政状況では早期に計画することは難しい。当面は交通に支障

がないよう維持補修の範囲で対処する。

質問 昨年運用を始めた山田町堆肥センターの事業経営内容は。

沼崎町長 昨年十一月から七月までの搬入実績量は、計画量の六割程度となっている。経営的には、同期間の総収入は計画に対し六割程度と搬入量に比例した数値となっている。

経営計画では黒字転換を三年後としており、現段階での赤字経営は想定内と受け止めている。



木下志き子議員

アスベスト対策

町施設に使用されているか

調査結果をもとに除去

質問 アスベストは過去、天然の耐熱素材として大量に使用されてきた。現在では肺がんの原因物質として使用が禁止されている。この物質が町施設に使用されているか調査を実施すべきと思うがどうか。

また、アスベストに関する町民からの相談はあるか。

沼崎町長 公共施設の三十四施設について図面及び

現場にて調査を実施した。

その結果、アスベストの使用は議場天井裏の梁で除去を行う。アスベストを含んでいると思われる施設は、ふるさとセンター天井裏梁、B&G海洋センター器具庫、機械室の壁及び梁で調査結果により除去する。

町民からの相談は今のところない。

質問 学校の教材として

石綿が使われたと記憶しているが現在の状況は。

関教育次長 理科の実験などで「石綿敷き金網」を使用していた。各学校を調査した結果、五校が処理済で六校が未処理であった。処理については、県から具体的な指示があるまで、ナイロン袋に入れ密封し、保管庫に入れ安全に管理するよう指示している。

議員6人が一般質問



健全育成のため学校・家庭・地域が一体となる必要があります

学校の盗難事件の防止策

教育行政

施錠の再点検と問題個所の修繕

松尾教育長

①八月七日(日)午後三時五分。

②バドミントンの羽根二個。

③学校施設の施錠などの不備な個所からの侵入であったため、全ての学校

で施錠などの再点検と問題の個所の修繕を行った。また、児童生徒に対しては、不法侵入は罪になることの指導を発達段階に応じて実施している。

質問 昨年の夏休み中にも本町の小学校で不法侵入があった。校内での安全と安心のため、各校に門扉、フェンスの設置が必要と思うが今後の対策は。

関教育次長 相当の経費が必要で、今の状況では難しい面があるが、検討課題であるとは認識している。



議場の天井裏梁にアスベストが露出して吹き付けられていることが分かり、来年除去工事が行われます

質問 夏休み中、本町の小学校で盗難事件が発生した。ついでには次の点を問う。

①日時は。

②これによって受けた被害の状況は。

③今後の再発防止対策は。



カキの出荷で忙しい養殖漁家（大沢）



佐藤照彦議員

水産振興

漁業系廃棄物の処理対策

県とともに解決に向け検討

質問 産業振興を問う。

①水産資源の持続的生産や漁場（海底）環境を守るため、大型トロール、大型巻網の操業規制を実現し、漁船漁業の振興に努力を。

②かき、ほたて、うに殻など漁業系廃棄物の処理対策の早期確立を。

沼崎町長

①町としては、底引き網が海底や生物資源に与える影響の調査を、岩手県水産技術センターに要望している。

②この問題は、重要な課題であり、県とともに解決に向けて検討を重ねる。当面の対策は、殻と付着物の分別、減量、自家処理を進めることであり、養殖業者と漁協に要請している。

中期的には、県営漁港の埋め立て処理護岸を最大限に利用することであり、牧場のぬかるみ防止

町の考えを聞く

防災対策

自主防災組織の結成 結成に向け各地区を支援

材としてリサイクルするなど、いくつかの方法が考えられる。今後、養殖

業者・漁協の意向を踏まえて検討したいと考えている。

質問 防災対策を問う。

①耐震診断、耐震改修への助成を。

②防災弱者対策の確立を。

③観光客、海水浴客対策の確立を。

④自主防災組織を作り、災害に強いまちづくりを。

沼崎町長

①耐震診断の助成は、十八年度から二十一年度までの期間で年十件を目標に取り組む。

耐震改良への助成については、現状では難しい。関係課で協議しているが、行政だけの対応は困難で

ある。家族、地域住民の助け合い、協力も必要である。

③避難標識をオランダ島、浦の浜、荒神海水浴場に設置した。

④町民懇談会で自主防災組織の結成を進めてきた。大沢の袴田、川向地区では独自の防災マップを作成し地区住民に配布している。山田地区では後楽町、中央町の一部が統合し、愛宕地区として自主防災組織を結成した。

今後とも結成に向けて各地区を支援していく。

豊中の生徒が議会を傍聴

4人が職場体験



職場体験で役場を訪れた豊間根中学校の生徒

豊間根中学校（福士久雄校長）の生徒四人が職場体験のため十月十三日に役場を訪れ、役場の仕事などについての体験をしました。その中で短い時間でしたが、第一回臨時会の傍聴も行われました。そのときの感想が寄せられましたので紹介します。

豊間根中学校一年
芳賀 貴 弘くん

初めて議会を見ました。話の内容はよく理解できませんでしたが、議員と町長が向き合い、議論をしていることが分かりました。議員の姿から伝わったことは、皆さんが意見を堂々と主張しているところで

す。私も生活の中で自分の意見を堂々と主張できるようになりたいです。また、質問に対してもしっかり応答できるようがんばりたいです。
中学生の自分達も山田町民として、この町を一生大切に、この町に立つことをしていきたいと思いました。

議員出欠表

○ 病气入院 □ 公務欠席
△ 遅刻早退 ○ 自己都合

月 日	本会議種別	欠 席 者 等 氏 名
9月6日	第3回定例会	○豊間根 彪 ○生駒 利治
9月7日	〃	△豊間根 彪 △沼崎 詔安 ○生駒 利治
9月8日	〃	△豊間根 彪 △川村 敬一 △佐々木良一郎 ○生駒 利治
9月15日	〃	△豊間根 彪 ○生駒 利治

明日の山田が見えてくる

みなさんと議会傍聴を

12月定例会は、
12月初旬に開会の予定です。

皆さんで議会を
傍聴しましょう。

あ
と
が
き

▼スポーツ・食欲・読書の秋、そして行事の秋。今年には町や学校など五十・八十・百三十周年が重なり、いそがしい日々を過ごしているのではないのでしょうか▼スポーツでは暑い夏に練習した成果がでて体力増を感じる時期です。サイクリングをしていた頃は日暮れが早くなっていたのが残念でした。今は運動量、読書量が少なく、飲食量が多い生活になりがちです。バランスの良い一日を送らなければ、反省▼町立保育園の民営化、児童館への指定管理者制度適用など、町は財政に見合った行政へダイエツト進行中です。既得権を奪われるのは誰でもいやなものです。しかし、体を軽くしなければ、歩き続けることができない現状です▼スタイルの良い山田町であるためにどこを削り、どこを残していくのか。私達の重要な仕事の一つです。（黒沢）

議会広報編集特別委員会

議 長 佐々木 剛一
委 員 長 田村 秀一
副 委 員 長 小又 隆悦
委 員 黒林 秀一
〃 鎌田 孝典
〃 山田 利治
〃 日忠 治郎